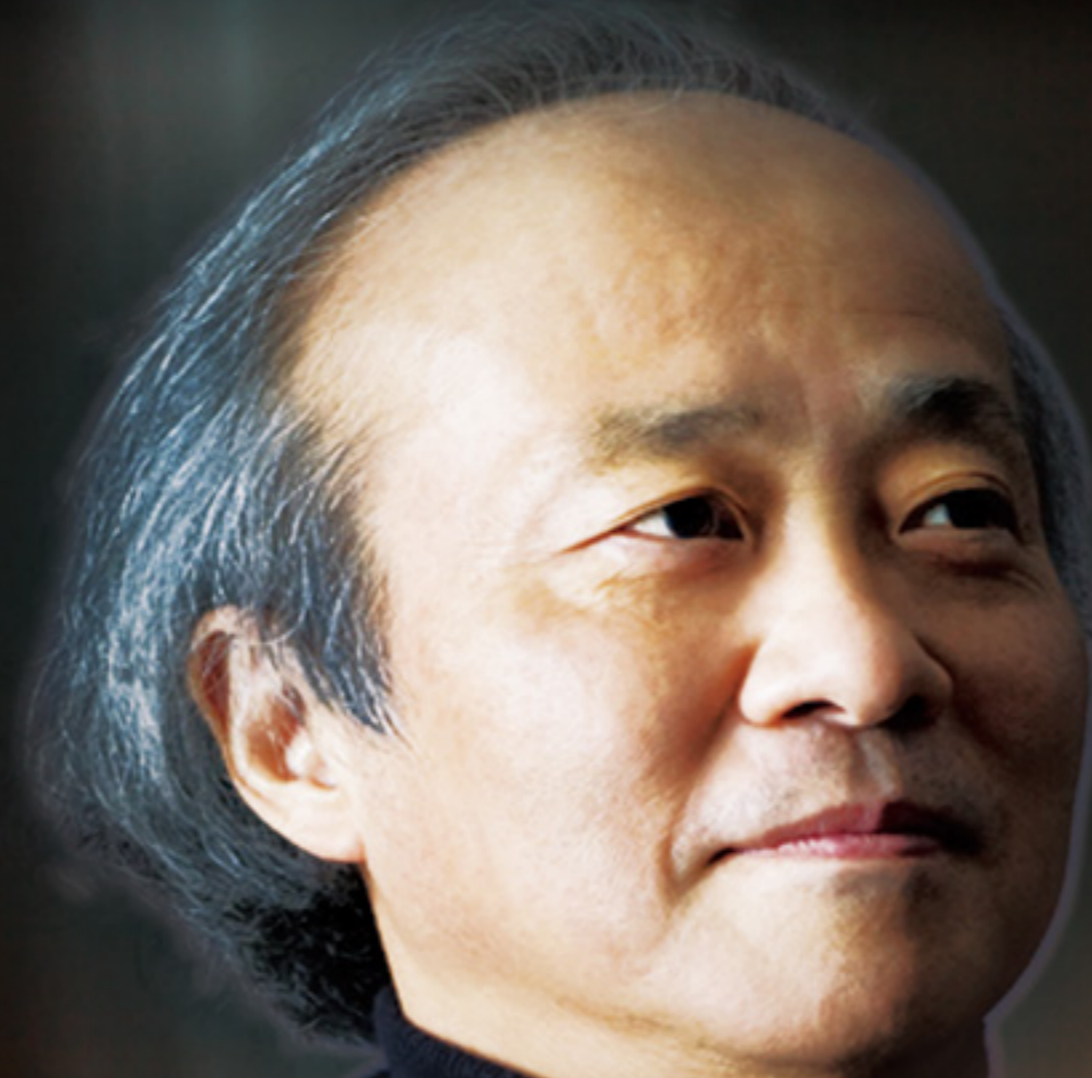


藝大フィルハーモニア 定期演奏会

GEIDAI PHILHARMONIA, TOKYO



指揮

Tadaaki OTAKA
尾高 忠明

武満 徹 ヴァイオリンとオーケストラのための《遠い呼び声の彼方へ!》

ブルックナー《交響曲第 7 番》ホ長調 〈ハース版〉



ヴァイオリン 松原 勝也



2013年 6月21日〈金〉 19:00 開演 18:30 開場 入場料 2,000円 全席自由

会場 東京藝術大学奏楽堂 [大学構内] ※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。未就学児の入場は、ご遠慮頂いております。

[チケット取り扱い] 藝大アートプラザ TEL: 050-5525-2102 ヴォートル・チケットセンター TEL: 03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>
東京文化会館チケットサービス TEL: 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket> イープラス (e+) <http://eplus.jp>
チケットぴあ TEL: 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> 《Pコード: 194-107》(一部携帯電話・PHS・IP電話はご利用いただくことができません)

[お問い合わせ] 東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300 東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp>

主催 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

2013年6月の定期は、尾高忠明の幅広いレパートリーから武満徹とブルックナーをお贈りします。プログラム前半の《遠い呼び声の彼方へFar calls. Coming, far!》(1980)は、武満徹がジェイムズ・ジョイスの小説『フィネガンズ・ウェイク』の一節に触発されて書いた作品です。作曲者によれば「C(ハ音)を基音にもつ主流が夜の風景のなかをハ調の海をめざして」進んでいくもので、武満の創作の柱である「水」と「夢と数」シリーズが合流した記念碑的作品です。1980年5月、尾高忠明が世界初演したこの作品は、第29回尾高賞を受賞しました。今回の公演では、武満作品に並々ならぬ意欲をもつ松原勝也の独奏ヴァイオリンと藝大フィルハーモニアの響きが、渾然一体となっていく演奏が期待されます。プログラム後半のブルックナーの《交響曲第7番》ホ長調(1981~83)は、尾高忠明がNHK交響楽団や大阪フィルハーモニー交響楽団で名演を重ねてきた作品です。藝大奏楽堂における尾高&藝大フィルの演奏にご期待ください。



©Martin Richardson

尾高 忠明 Tadaaki OTAKA

指揮 Conductor

1947年鎌倉生まれ。桐朋学園大学音楽学部で齊藤秀雄に師事。70年民音指揮者コンクール第2位。71年NHK交響楽団を指揮してデビュー。さらに72年からウィーン国立音楽アカデミーでスワロフスキーに指揮法を学んだ。東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者(現桂冠指揮者)、札幌交響楽団正指揮者・常任指揮者(現音楽監督)、読売日本交響楽団常任指揮者(現名誉客演指揮者)、紀尾井シンフォニエッタ東京のミュージカル・アドバイザー・首席指揮者(現桂冠名誉指揮者)などを歴任。87年にBBCウェールズ交響楽団(現BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団)首席指揮者に就任し(96年から桂冠指揮者)、翌年、夏の音楽祭「プロムス」にデビュー以来、ヨーロッパに活動の場を広げた。2010年NHK交響楽団正指揮者、新国立劇場オペラ芸術監督、メルボルン交響楽団首席客演指揮者に就任。1991年度サントリー音楽賞、93年ウェールズ音楽演劇大学名誉博士号、97年英国エリザベス女王より大英勲章CBE、99年には英国エルガー協会より「エルガー・メダル」受賞。松村禎三や三善晃など日本人作曲家の初演も多く手掛け、BBCウェールズ交響楽団とCD「尾高忠明 武満を振る」をリリースしている。現在、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。



松原 勝也 Katsuya MATSUBARA

ヴァイオリン Violin

1963年東京生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクールなどで上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターなどを歴任。無伴奏リサイタル・シリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、ジャズ・ミュージシャンとのコラボレーションなど極めて幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催、好評を得た。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部器楽科室内楽専攻教授。

藝大フィルハーモニア (東京藝術大学管弦楽研究部) Geidai Philharmonia, Tokyo

藝大フィルハーモニアは東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年2回の定期演奏会、声楽科との合唱定期、オペラ研究部との共演、新卒業生(各科最優秀者)の紹介演奏の他、年末恒例の「メサイア演奏会」、「第九公演」などを行っている。教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲などの共演および作曲科学生の作品演奏、指揮科学生による演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。前身である旧東京音楽学校管弦楽団は、わが国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》、チャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》などを本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての活動を果たしてきた。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

- JR上野駅(公園口)、鶯谷駅(南口)、東京外口千代田線根津駅より徒歩10分
- 京成線上野駅、東京外口日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- 台東区循環バス「東西めぐりん」
- ② 上野駅・上野公園から (東京芸術大学経由) ⇒ ⑤-1 東京芸術大学下車 [30分間隔]

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
 ※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。
 ※未就学児の入場は、ご遠慮いただいております。

